

当院の大量出血対応に関するアンケートに回答された医療従事者の皆様へ

「医療従事者の術中大量出血対応教育に関する検討」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院では、手術に関わる医療従事者の方を対象にしたアンケート情報をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2023年6月1日から2023年12月31日までの期間に、鳥取大学医学部附属病院において、術中大量出血対応の勉強会や術中大量出血シミュレーションに参加いただいた医療従事者の方のアンケート等から、情報を集めさせていただき、「勉強会やシミュレーションの効果（出血対応の理解が深まったか）」を調査します。また、それ以外にも、「他のスタッフの役割理解度」、「勉強会およびシミュレーション内容の評価」、「アクションカードの有用性」についても調査を予定しています。加えて、「当院独自の大量出血アルゴリズムの有用性に関する検討」（22A075）の研究にてご回答頂いたアンケートのデータを利用し、「以前のアンケートとの比較」についても調査を予定しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院手術部で集計されます。なお、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる方は、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

勉強会やシミュレーションの参加者アンケート情報と、以前に実施した臨床研究「当院独自の大量出血アルゴリズムの有用性に関する検討（22A075）」から以下の項目を集めさせていただきます。

1. 術中大量出血勉強会アンケート

- 1) 参加者に関する情報：経験年数
- 2) 勉強会の内容について
- 3) 講義内容で「役に立った」ことについて
- 4) 講義内容で「すでに知っていた」ことについて
- 5) 講義内容で「理解できなかった」ことについて
- 6) 大量出血対応について困っていること、知りたいこと、改善点

2. 術中大量出血シミュレーションに関するアンケート

- 1) 参加者に関する情報：職種、経験年数、参加時の役割
- 2) 術中大量出血時の対応に関する知識
- 3) 術中大量出血時の職種役割に関する知識
- 4) アクションカードについて

- 5) 多職種による大量出血シミュレーションについて
- 6) 感想,意見

3. 「当院独自の大量出血アルゴリズムの有用性に関する検討（22A075）」で得られたアンケート

- 1) 職種、経験年数(医師・看護師・臨床工学技士)
- 2) 大量出血アルゴリズムについて(医師・看護師・臨床工学技士)
- 3) 術中大量出血時の自身の役割について(医師のみ)
- 4) 術中大量出血時の他職種の役割について（(医師・看護師のみ)
- 5) 術中大量出血に関する各部署合同のシミュレーションについて(医師・看護師・臨床工学技士)
- 6) 術中大量出血時の対応について(看護師のみ)

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2027年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

対象者の方の情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、本研究は無記名のアンケートを対象としているため、匿名化された情報を使用します。このようにして対象者の方の個人情報の管理については十分に注意を払います。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

【利益】

今回の研究に情報をご提供いただいた対象者の方個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の安全な手術体制に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた対象者の方への謝礼等もありません。

【不利益】

実施済みアンケートからの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく対象者の方の情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、対象者の方の情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、対象者の方個人を特定できない状態にして適切に廃棄します

7. 研究への情報使用の取り止めについて

本研究は無記名のアンケートを対象としているため、匿名化された情報を使用します。氏名、連絡先等の情報がなく、拒否機会の保障が困難であるため、研究への情報使用の取

り止めを行うことができません。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部麻酔集中治療医学分野の奨学寄附金、鳥取大学医学部附属病院手術部の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、対象者の方個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に対象者の方の個人情報が明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、対象者の方の情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

大槻 明広 鳥取大学医学部 器官制御外科学講座麻酔・集中治療医学分野 教授
〒683-8504 鳥取県米子市西町 86
TEL：0859-38-6657 / FAX：0859-38-6659

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)